

## インターオプト開催案内

光産業技術振興協会では、最先端光技術の国際展示会である、インターオプト（International Optoelectronics Exhibition）「光&次世代アプリケーション・ネットワークシステム展示会」を 2022年6月15日（水）～ 17日（金）の3日間、東京ビッグサイトにて開催いたします。

<http://www.optojapan.jp/interopto/>

会 期： 2022年6月15日（水）～ 17日（金）10:00～17:00

会 場： 東京ビッグサイト 東展示棟

入 場 料： 無料 ※完全WEB事前登録制 ([https://www.optojapan.jp/aap/ja/for\\_visitor.html](https://www.optojapan.jp/aap/ja/for_visitor.html))

同時開催：「LED JAPAN」「Imaging Japan」「Smart Sensing」「JPCA Show」他 全12展示会

自動車・車載、光通信・データ伝送、製造・生産、AV・家電、ヘルスケア・医療分野など、幅広い分野の開発用途から産業用途まで、新たにデジタルトランスフォーメーション時代に対応する展示会として、最先端光技術を一堂に会します。

今回も電子機器トータルソリューション展と同時開催することにより、光技術と電子技術の連携を図るため、相互来往、企画連携などを実施します。

### ■展示会

最先端光技術の応用先は精密機器や半導体、通信、計測からバイオテクノロジーに至るまで多岐に渡るため、インターオプトに加えて、特に注目度の高いアプリケーションに特化した専門展示会として、LED 応用の最先端技術・製品をテーマにした LED の設計製造展「LED JAPAN」、撮影・撮像、画像処理、画像センシング、ディスプレイ・投影に関する技術と製品をテーマにした最先端イメージング技術の展示会である「Imaging Japan」の2展示会を加え、次世代アプリケーション・デバイスを目指した光技術+製品開発のパートナーリングイベント『All about Photonics』として光技術の最新情報を発信し、新たなビジネスマッチングを実現します。

今回は電子回路・実装技術の展示会である電子機器トータルソリューション展の中での開催としたことにより、光技術と電子技術をつなぐ先端デバイスの総合技術展示会として開催いたします。

### 出展対象技術・製品

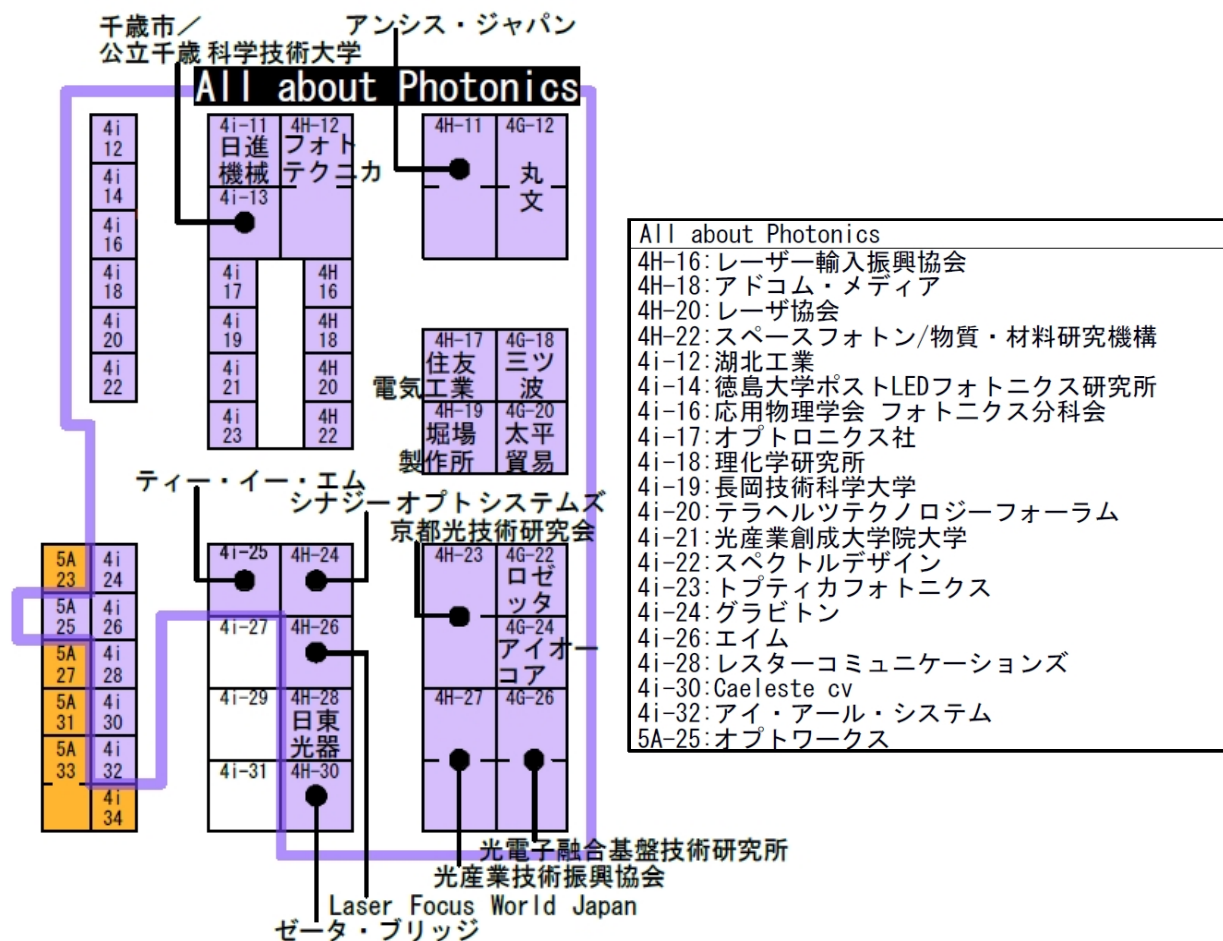
- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| (1) 自動車・車載用光装置、光デバイス    | (4) 長距離通信用光装置、光デバイス    |
| (2) 製造・生産システム用光装置、光デバイス | (5) ヘルスケア・医療用光装置、光デバイス |
| (3) データセンタ用光装置、光デバイス    | (6) AV・家電              |

### 同時開催展示会 ※展示会名称：主催団体

- ・ LED JAPAN：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（JCD）
- ・ Imaging Japan：JCD
- ・ JPCA Show 2021：一般社団法人日本電子回路工業会（JPCA）
- ・ 2021 マイクロエレクトロニクスショー：一般社団法人エレクトロニクス実装学会（JIEP）
- ・ 実装関連展：JPCA

- ・有機デバイス総合展 2021 : JPCA ・電子デバイス産業新聞 ((株) 産業タイムズ社)
- ・WIRE Japan Show 2021 : JPCA ・電線新聞 ((株) 工業通信)
- ・JEP/TEP Show 2021 : JPCA ・全国電子部品流通連合会、東京都電機卸商業協同組合
- ・E-Textile : JPCA ・福井県 e-テキスタイル製品開発研究会
- ・Smart Sensing 2021 : JPCA ・JCD
- ・Edge Computing : JPCA ・JCD

展示ブース (東4ホール: All about Photonics のみを掲載)



注目される光技術展示

光技術の最新情報が集まる当協会の強みを生かし、萌芽段階にある技術をいち早く発掘・紹介することを目的に、毎年「注目される光技術展示」と「注目される光技術セミナー」を開催しています。これらは各分野で注目されている企業・研究機関を、当協会の光技術動向調査委員会からの推薦および中小企業を対象とした出展支援事業の応募の中から選出し、新たな光産業を牽引することが期待される技術を展示とセミナーとにより紹介するものです。

注目される光技術展示 出展者および出展技術

出展者名	出展技術 (出展名)
アイオコア株式会社	最先端シリコンフォトンクス技術を採用した超小型光モジュール
京都光技術研究会	超広帯域空間光位相変調器 UV-NIR SLM 等

\*今回は「注目される光技術セミナー」は実施しません

■ OITDA セミナー 6月15日(水)

『サイバー・フィジカル社会の実現に向けた光技術』

6月15日(水)に東京ビッグサイト会議棟1階 102会議室にて、サイバー空間とフィジカル空間(現実社会)が高度に融合した超スマート社会を実現するための最新光技術やその応用・サービスに関する講演を実施します。プログラムをご参照の上、是非ともご参加ください。

- ・聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、教育機関、公的機関、報道関係者は「無料」  
一般参加者：¥5,000(消費税込み)
- ・参加申込フォームURL：<https://forms.office.com/r/5BNkmi4F57se>
- ・問合せ先 E-mail：oitda-seminar\_2022@oitda.or.jp



(敬称略)

OITDA セミナー 6月15日(水)		会場:東京ビッグサイト 会議棟 1F 102 会議室	
10:25~10:30	『主催者挨拶』 一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久		
10:30~11:15	『ダイナミックイメージコントロールの新展開』 群馬大学 教授 奥 寛雅 ダイナミックイメージコントロールは、高速画像処理と高速光学系に基づいて動的なセンシングやインターフェースを実現する手法である。近年では共振型の液体レンズや撮像素子の露光タイミング制御を利用した新たなイメージング手法や、液体レンズや広範囲の視線制御手法に基づく立体ディスプレイや動的プロジェクションマッピング手法へ展開している。本講演では、これらの進展を中心に紹介する。		
11:15~12:00	『人と機械が協調する社会の実現に向けた画像センシング技術』 オムロン株式会社 技術専門職 木下 航一 近年AI技術の進化により、多くの分野に機械が入り込んでいくなかで、人と機械が円滑に協調することの重要性が高まっている。われわれはこのような人と機械の協調した社会の実現に向けて、モノ・ヒトを深く理解するためのセンシング技術の研究開発を行っている。本講演では、このような社会実現に向けた取り組みを含め、オムロンの画像センシング技術に関して最近の事例を中心に解説を行う。		
13:00~13:45	『人に優しい裸眼 3D ディスプレイと遠隔コミュニケーションへの応用』 長崎大学 教授 高田 英明 究極の映像提示の1つとして、3Dメガネを必要とせずに運動視差も含めた自然な立体視が可能な裸眼3D表示が期待される。特に、3D映像があたかも目の前に実在するかのように提示できる技術は、将来のサイバー・フィジカル社会における遠隔コミュニケーションや協調作業、eスポーツなど幅広い応用が期待される。本講演では、人の知覚メカニズムを積極的に活用した人に優しい裸眼3Dディスプレイの実現に向けた取り組みについて紹介する。		
13:45~14:30	『メタバースと VR 技術がもたらす社会変化』 株式会社バーチャルキャスト 取締役 CTO 岩城 進之介 近年メタバースという言葉をよく耳にするようになったが、メタバースとはいったい何なのか？メタバースによって世界がどう変わるのか？はなかなか見えてこない。本講演では、「メタバース」というムーブメントを社会変化という視点で切り取り、これから社会がどのように変化していくか、新技術がどのように社会の変容を促し、そして社会に受容されていくか、今起きていることと、近未来の予測を解説する。		

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。